

エコキッズサマースクール開催

7月26日、しまとびあスカイセンターで「周防大島エコキッズ サマースクール」が開催され、町内外から親子38組85人が参加しました。

会場ではLEDランタンやソーラーハウスづくりなど多彩なエコ工作が行われました。中でも、周防大島町産の竹を使った箸・コップづくりや竹灯籠づくりが人気を集め、子どもたちは身近な素材が作品に変わる様子に夢中になっていました。

参加した児童は「自分で作った竹の箸でご飯を食べるのが楽しみ」と笑顔。遊びを通して、環境問題や地域の資源活用を考える貴重な一日となりました。



▲完成した作品を手に、笑顔を見せる参加者

カウアイ島への語学留学

7月27日、姉妹島提携を結んでいるカウアイ島への語学留学の結団式を大島庁舎で行いました。

これは語学力の向上はもとより、体験型学習等を通じて、異文化を理解し行動できる次世代の人材育成を図ることを目的に行っているものです。

今回は、町内在住の高校生4人が参加し、8月6日から19日までの2週間、周防大島町と協定を結ぶ山口県立大学の協力を得て、ハワイ大学カウアイコミュニティカレッジを拠点に英語などを学びます。



▲結団式に出席した皆さん

熱戦！繰り広げる

7月12日、第33回サザンレク片添山口県知事杯ビーチバレー大会2026が、片添ヶ浜海浜公園で開催されました。

大会には、男子の部と女子の部、合わせて57チーム114人が参加し、非常に暑い中での開催となりましたが、毎試合熱戦を繰り広げました。

また、今年もVリーグに所属する東京サンビームズの選手の皆さんがエキシビジョンマッチを行うなど、大会を大いに盛り上げました。さらに、大会前日の11日には、周防大島バレー教室も開催され、参加した小学生たちは熱心に選手からの指導を受けました。



▲男子の部決勝の様子

アロハな土曜日、始まる

周防大島夏の恒例イベント、サタデーフラこと「サタフラ2026」が開幕し、7月18日にグリーンステイながうら会場でオープニングフェスタが開催されました。

今年も全国各地から、瀬戸内のハワイ「周防大島」にダンサーが集まり、夏を盛り上げます。

サタフラは、夏休み期間中の毎週土曜日に、デイステージ2会場とナイトステージ2会場の全4会場で開催しています。



▲素敵なフラを披露する参加チーム